

竹構造建築物の実現を目指して

RYOSUKE HARA ARCHITECTS STUDIO

竹篋舎-TAKENOYA- 割竹を用いた仮設舞台ステージでの野外演劇の上演



■ 演劇公演を通じた地域のシビックプライドの形成

竹林内に現地から調達した竹材を用いた舞台ステージ架構を建設し、そこで野外演劇公演を行いました。外部からの視点として演劇関係者、デザイナー、学生が介入することで竹の新たな魅力を発見し、竹林を借景とした演劇作品を鑑賞するという空間体験は地域住民にとって竹林に入るきっかけを創出すると同時に竹林に対する親しみを持つ機会になることを目指しました。

■ 曲げに強く、割れに弱い竹の材料特性を活かした編込み式接合部

竹は曲げに対して高い構造性能を有する一方、肉厚が薄いことからボルト穴やビス穴から割裂が発生しやすい特徴があります。これらの材料特性からボルト、ビスを用いず、割竹をしならせて編み込むことで発生する摩擦力を利用した機構による架構を設計しました。施工性、現地への運搬を考慮し、ユニットシステムによる架構計画とし16ユニットで全体架構を構成しています。

受賞

JID AWARD 2023 ネクストエイジ部門賞
グッドデザイン・ニューホープ賞 入選
第15回建築コンクール 審査員特別賞
トウキョウ建築コレクション2023 審査員特別賞
九州大学 総長賞 最優秀賞

「竹篋舎-TAKENOYA-」について

用途: 野外演劇用舞台ステージ
構造: 竹構造(割竹の編み込みによる摩擦接合)
架構面積: 29.28 m² (幅6.1m×奥行き4.8m)
架構の最高高さ: 4.4 m
架構総重量: 357.2kg

建設資材・利用



架構写真



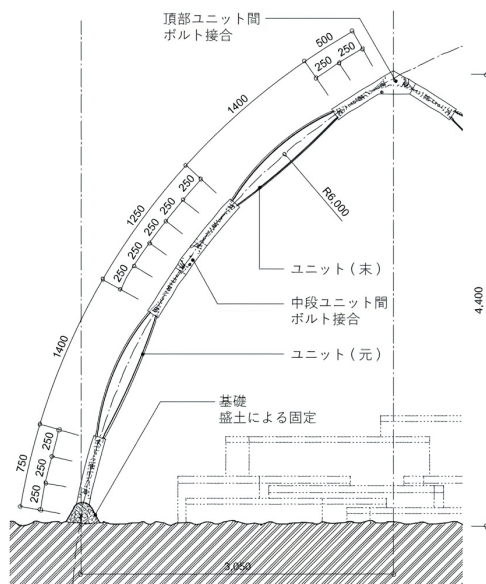
製作の様子



野外演劇公演



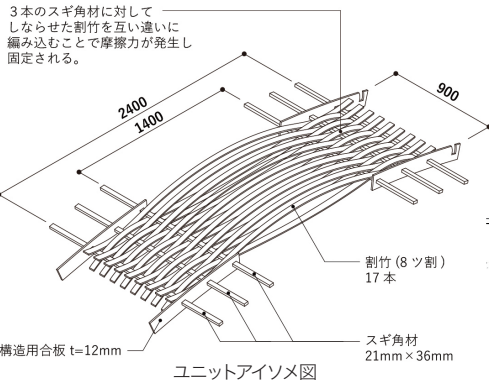
公演の様子



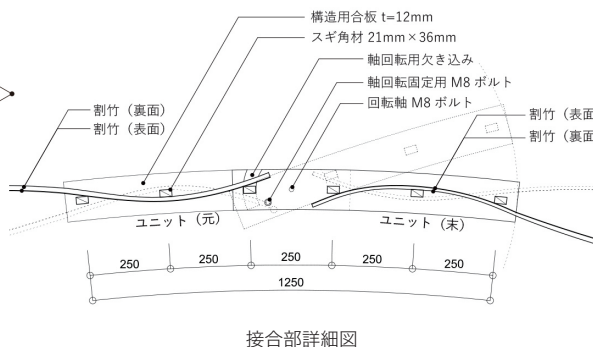
架構詳細図



ユニットの製作



ユニット接合部



RYOSUKE HARA ARCHITECTS STUDIO

〒106-0047 東京都港区南麻布3-9-25 my AZABU101

090-8375-7339 ryooofuri@gmail.com <https://hararyosuke.com/>